

令和2年度 県土整備部環境配慮事例報告書

事業主管課	砂防防災課
実施機関	県土整備部(美馬)

【事業の概要】

事業の種類	砂防	急傾斜地崩壊対策
事業箇所名	美馬市穴吹町口山	
事業の規模・状況	400 m	小規模事業a 施工段階

【事業の目的及び概要】

宮内急傾斜地崩壊危険区域は、がけ高26m、勾配34°の急傾斜地であり、保全対象には、人家19戸及び地域防災計画に記載された避難路である国道492号、避難所2戸等が含まれている。
 本事業により、急傾斜地崩壊防止施設の整備を行うことで、急傾斜地の崩壊による災害から住民の生命を保護し、もって民生の安定と国土の保全とに資することを目的とする。

【実施した環境要素の一覧及びRDBの有無、モニタリングの要否】

大気	騒音・振動	水環境	地形・地質等	生物多様性	景観	自然とのふれあい	文化財	廃棄物	温室効果ガス等	RDB種の有無	モニタリングの要否
○					○			○			

【特に配慮した環境要素と実施事項】

- ①構造形式
 待受式擁壁での対策とすることで、急傾斜地崩壊防止施設の整備による地形改変を最小限に抑える。
 また、東側工区の一部区間においては、斜面勾配や人家背面空間等の地形的制約から、鉄筋挿入工を併用した掘削により、切土範囲を抑える。
- ②緑化対策
 擁壁上部の法面対策として法枠工を採用しているが、植生基材により枠内の吹付を行うことで、緑化対策を図る。

【目標に対する達成状況】

- 「①構造形式」は、比較検討等の結果、地形改変の影響が最も小さいものを採用した。
 「②緑化対策」は、斜面に対する地山改変が少なく、枠内の緑化対策を図る法枠工を採用した。

【実施事項に対する評価】

実施者	事業箇所周辺への環境への配慮、事業主旨の範囲内での自然環境へ配慮した計画となっている。
主管課	適切な目標設定がなされていると考えられる。

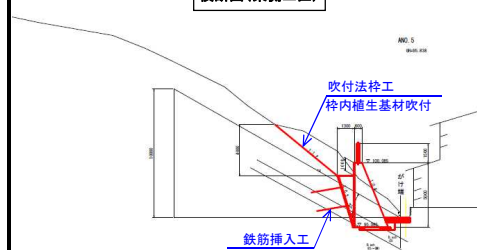
位置図・平面図等

保全対象家屋	
急傾斜地崩壊危険区域	
被害想定区域	



写真、図面等

横断面(東側工区)



横断面(西側工区)

